

土地の所在 高松市高松町字永ノ谷 1661番3, 1662番地 先農道

土地利用計画図

開発許可年月日

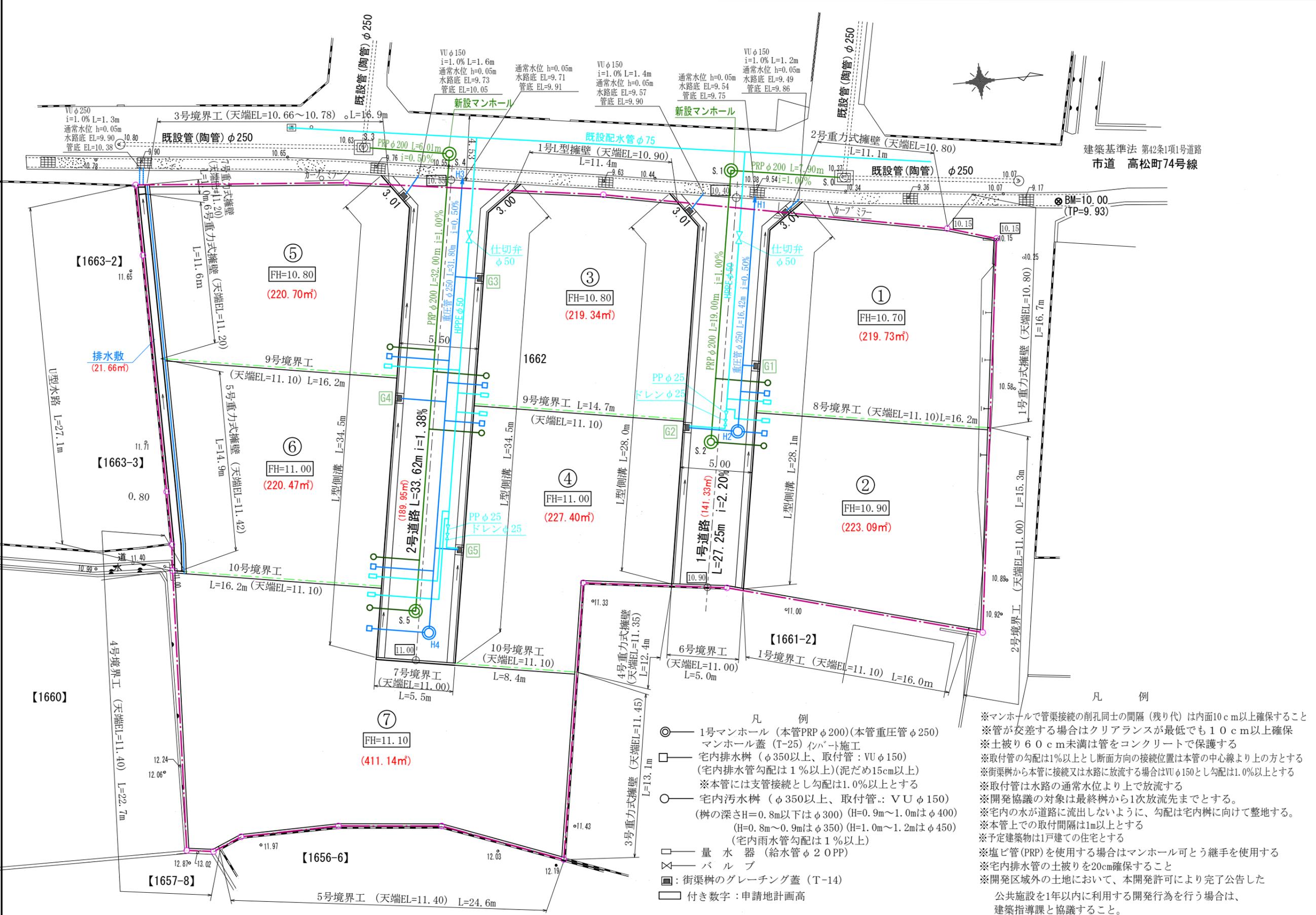
第 令和 年 月 日
号

申請者

ヴァレリ株式会社
代表取締役 三宅正高

作成者 住所・氏名

高松市三谷町一八九一番地四
土地家屋調査士 多田 幸広



- 凡例
- 1号マンホール (本管PRPφ200)(本管重圧管φ250)
マンホール蓋 (T-25) インバート施工
 - 宅内排水樹 (φ350以上、取付管: VUφ150)
(宅内排水管勾配は1%以上)(泥だめ15cm以上)
※本管には支管接続とし勾配は1.0%以上とする
 - 宅内汚水樹 (φ350以上、取付管: VUφ150)
(樹の深さH=0.8m以下はφ300)(H=0.9m~1.0mはφ400)
(H=0.8m~0.9mはφ350)(H=1.0m~1.2mはφ450)
(宅内雨水管勾配は1%以上)
 - 量水器 (給水管φ2OPP)
 - × バルブ
 - 街渠樹のグレーチング蓋 (T-14)
 - 付き数字: 申請地計画高
- 凡例
- ※マンホールで管渠接続の削孔同士の間隔(残り代)は内面10cm以上確保すること
 - ※管が交差する場合はクリアランスが最低でも10cm以上確保
 - ※土被り60cm未満は管をコンクリートで保護する
 - ※取付管の勾配は1%以上とし断面方向の接続位置は本管の中心線より上の方とする
 - ※街渠樹から本管に接続又は水路に放流する場合はVUφ150とし勾配は1.0%以上とする
 - ※取付管は水路の通常水位より上で放流する
 - ※開発協議の対象は最終樹から1次放流先までとする。
 - ※宅内の水が道路に流出しないように、勾配は宅内樹に向けて整地する。
 - ※本管上での取付間隔は1m以上とする
 - ※予定建築物は1戸建ての住宅とする
 - ※塩ビ管(PRP)を使用する場合はマンホール可とう継手を使用する
 - ※宅内排水管の土被りを20cm確保すること
 - ※開発区域外の土地において、本開発許可により完了公告した公共施設を1年以内に利用する開発行為を行う場合は、建築指導課と協議すること。

縮尺 1/250